

# 志を立てて、以て万事の源となす

第8回 福岡教師塾 12月1日(金)

## 塾生による、塾生のための研修「拓」

～持続可能な社会を創造する子どもたちをはぐくむために～

### 同僚性の深化



### 行動化の促進



#### ○塾生の声

- ・自分と他者の考えの相違に自分の中できちんと折り合いをつけながら、相手の思いや考えに寄り添い、お互いを最大限に活かすためにどういう最適解があるのか、常に考え続けていくことの大切さを強く感じました。
- ・互いの立場や考えをまずは受け入れる姿勢。何気ない雑談。肯定的な声掛けや価値づけ。感謝の言葉。このような姿が私のチームにはあふれていました。誰一人として、誰かに任せようということなく、それぞれの強みを生かしていました。そのような姿勢が、この協働的な雰囲気を生み出したのだと思います。
- ・人をリードするということは、自分が引っ張るのではなく、人が前に進みやすいように、仕掛けていくことなのだという新しい意識に変容した。

## 閉講式



修了証書授与  
春日東中学校  
秋山 美樹 先生



塾長式辞  
福岡教師塾 塾長  
日高 公德

どのような教育者になりたいのか、「志」を福岡教師塾での学びを通して磨かれ、その学びが修了証書の中につまっています。先生方が今後の福岡県の教育を担っていくと確信しています。



塾生代表挨拶  
三池工業高等学校  
新福 幸治 先生

同校種・異校種の先生方との交流を通して、これからの教員人生で必要となる資質・能力を養うことができました。この学びを実践に繋げることで積極的に学校に還元し、教育の充実に努めて参ります。

#### ○塾生の教育観

- ・教育観は自分の人生観と捉え、まずは自分が幸せに生きるために努力し続けること。そして自分に関わる人々を幸せにしていくこと。すべての子供たちが成長する可能性を持っている。そんな子供たちに内なる火を灯せるような教師でありたい。
- ・すべての子供達が幸せに生きるために、不易流行を見定めながら方法、内容、評価、役割等を常にアップデートし、教師として学び続ける気概をもつことと考えるようになりました。
- ・「教育は、教師個人の努力によってつくられるものではなく、教師同士の協働によって教育の質を高めることができる。」と考えるようになった。
- ・私の教育観は、「幸せになるためには」です。学校では授業や行事、教育活動が誰のために、なんのためにあるのかを考えたときに、「子供の幸せのため」であると断言できます。様々な教育活動を子供ファーストで考え、子供にとってより良いものとは何かを考えることが教育であると考えます。そして教育者自身も幸せになることを考えなければならないと思います。教育者が幸せであれば、子供も幸せを感じ取ってくれるはずで、学校に関わる全員が「幸せになるために」何ができるかをこれからも考えていきたいです。